



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月7日

上場会社名 セントラルスポーツ株式会社 上場取引所 東
コード番号 4801 URL <https://www.central.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 執行役員 (氏名) 後藤 聖治
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 安部 宏 TEL 03-5543-1803
半期報告書提出予定日 2024年11月13日 配当支払開始予定日 2024年12月2日
決算補足説明資料作成の有無: 無
決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	23,100	2.2	689	△53.2	470	△61.8	902	17.6
2024年3月期中間期	22,596	5.8	1,473	72.9	1,231	109.7	767	195.7

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 1,050百万円 (20.6%) 2024年3月期中間期 871百万円 (111.9%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	80.60	—
2024年3月期中間期	68.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	40,086	25,672	64.0	2,292.08
2024年3月期	41,628	24,823	59.6	2,216.27

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 25,672百万円 2024年3月期 24,823百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	18.00	—	18.00	36.00
2025年3月期	—	25.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,600	7.1	3,230	21.7	2,730	25.2	1,620	39.6	144.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	11,466,300株	2024年3月期	11,466,300株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	265,681株	2024年3月期	265,681株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	11,200,619株	2024年3月期中間期	11,200,639株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

業績予想の前提条件及びその他関連する事項については、第2四半期（中間期）決算短信（添付資料）3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国の経済は、企業収益や雇用・所得環境で改善の動きが見られ、緩やかに回復基調となった一方で、継続的な物価上昇による消費の減速懸念や、コロナ禍からのリバウンド需要の一巡によりサービス消費に伸び悩みが見られるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当フィットネス業界におきましては、小型店業態の拡大等もあり、健康志向の高まりや様々なスポーツへの取り組みも増加傾向にあります。また、パリ2024オリンピック・パラリンピック競技大会の開催により、日本全体のスポーツ熱が高まり、国民のスポーツに対する関心は益々大きくなってきております。

このような環境の中、当社グループは経営理念である『0歳から一生涯の健康づくりに貢献する』のもと、「現在価値の最大化による顧客満足度の向上」を目標とし、接客力・指導力・施設美化の再強化に注力するとともに、安心・安全で快適な環境を提供できるよう努めてまいりました。

店舗につきましては、7月に直営店として体操スクールに特化した「セントラルスポーツ体操スクール松戸新店」（千葉県松戸市）を出店、8月に株式会社レフコの新設分割会社であるRefco株式会社の全株式を取得し、「高松店」（香川県高松市）、「姫路店」（兵庫県姫路店）、「岡山店」（岡山市北区）、「くまなん店」（熊本市南区）、「大分店」（大分県大分市）の5店舗の運営を開始しました（10月1日に株式会社セントラルスポーツプラザを存続会社、Refco株式会社を消滅会社とする吸収合併を行い、各店の名称をセントラルスポーツプラザに変更）。また、8月末に「セントラルスポーツジムスタ東久留米店」（東京都東久留米市）、9月末に「セントラルフィットネスクラブ岐阜店」（岐阜県岐阜市）の2店舗の運営を終了しました。その結果、当中間連結会計期間末の店舗数は、直営185店舗、業務受託65店舗、合計250店舗となりました（9月末終了の1店舗は店舗数に含む）。

店舗運営につきましては、全国のクラブでのアスリート応援企画イベントの開催や、日帰り温浴施設「THE SPA 成城」の全面改装、既存店のマシンジムリニューアル等を進め、お客様の満足度向上に努めました。

7月から9月に開催されたパリ2024オリンピック・パラリンピック競技大会においては所属選手6名、所属コーチ2名が選出され、体操競技では、男子団体で当社所属選手である橋本大輝選手、萱和磨選手、谷川航選手が金メダルを獲得、競泳競技では男子4×200mフリーリレーにて眞野秀成選手が7位入賞、男子200mバタフライにて寺門弦輝選手が準決勝進出、パラ水泳では荻原虎太郎選手が男子100m背泳ぎS8にて8位入賞、男子200m個人メドレーSM8にて7位入賞を果たしました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は23,100百万円（前年同期比2.2%増）、経常利益は470百万円（前年同期比61.8%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は902百万円（前年同期比17.6%増）となりました。

なお、税効果会計において、現時点における将来の課税所得を見積り、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、法人税等調整額（益）を720百万円計上しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,541百万円減少し、40,086百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金、売掛金が減少したこと等により流動資産が3,254百万円減少し、有形固定資産が769百万円、繰延税金資産が782百万円増加したこと等によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,390百万円減少し、14,413百万円となりました。その主な要因は、流動負債のその他に含まれる未払費用が増加したものの、契約負債が減少したこと等により流動負債が2,465百万円、借入金の返済が919百万円減少したことによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ849百万円増加し、25,672百万円となりました。この結果、自己資本比率は64.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ3,191百万円減少し、4,203百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、938百万円の支出（前年同期は1,643百万円の収入）となりました。これは、減価償却費722百万円及び未払金の減少634百万円、契約負債の減少1,296百万円等によるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、1,037百万円の支出（前年同期は473百万円の支出）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出713百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式取得による支出296百万円、敷金及び保証金の差入による支出110百万円等によるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、1,297百万円の支出（前年同期は1,245百万円の支出）となりました。これは、長期借入金の返済による支出919百万円、配当金の支払額201百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、本資料公開時点において、2024年5月13日の決算短信で発表しました通期連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,395	4,203
売掛金	1,801	1,656
商品	260	290
貯蔵品	54	48
その他	963	1,021
貸倒引当金	△1	△2
流動資産合計	10,473	7,218
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	33,385	34,213
工具、器具及び備品	6,093	6,388
土地	8,413	8,536
リース資産	6,220	6,015
その他	84	56
減価償却累計額	△34,676	△34,918
有形固定資産合計	19,521	20,291
無形固定資産	428	504
投資その他の資産		
繰延税金資産	237	1,020
敷金及び保証金	10,185	10,293
その他	830	805
貸倒引当金	△47	△47
投資その他の資産合計	11,205	12,071
固定資産合計	31,155	32,867
資産合計	41,628	40,086

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	89	102
1年内返済予定の長期借入金	1,782	1,106
契約負債	2,800	1,565
賞与引当金	531	515
その他	4,958	4,408
流動負債合計	10,163	7,698
固定負債		
長期借入金	243	-
リース債務	4,104	4,002
退職給付に係る負債	124	128
資産除去債務	1,580	1,898
その他	588	685
固定負債合計	6,641	6,715
負債合計	16,804	14,413
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,261	2,261
資本剰余金	2,273	2,273
利益剰余金	20,654	21,355
自己株式	△623	△623
株主資本合計	24,565	25,266
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48	44
為替換算調整勘定	209	361
その他の包括利益累計額合計	257	405
純資産合計	24,823	25,672
負債純資産合計	41,628	40,086

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	22,596	23,100
売上原価	19,474	20,592
売上総利益	3,122	2,507
販売費及び一般管理費	1,648	1,817
営業利益	1,473	689
営業外収益		
受取利息	13	20
その他	20	17
営業外収益合計	33	38
営業外費用		
支払利息	274	256
その他	0	1
営業外費用合計	275	257
経常利益	1,231	470
特別利益		
固定資産受贈益	10	-
特別利益合計	10	-
特別損失		
店舗閉鎖損失	24	121
減損損失	35	20
特別損失合計	60	141
税金等調整前中間純利益	1,182	328
法人税、住民税及び事業税	279	146
法人税等調整額	136	△720
法人税等合計	416	△573
中間純利益	766	902
非支配株主に帰属する中間純損失 (△)	△1	-
親会社株主に帰属する中間純利益	767	902

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	766	902
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8	△3
為替換算調整勘定	96	151
その他の包括利益合計	105	148
中間包括利益	871	1,050
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	872	1,050
非支配株主に係る中間包括利益	△1	-

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,182	328
減価償却費	734	722
減損損失	35	20
賞与引当金の増減額 (△は減少)	79	△15
支払利息	274	256
固定資産受贈益	△10	-
未払金の増減額 (△は減少)	△148	△634
契約負債の増減額 (△は減少)	△349	△1,296
その他	239	218
小計	2,038	△400
利息の支払額	△274	△256
法人税等の支払額	△124	△291
その他	3	9
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,643	△938
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△368	△713
敷金及び保証金の差入による支出	△102	△110
敷金及び保証金の回収による収入	5	105
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△296
その他	△8	△22
投資活動によるキャッシュ・フロー	△473	△1,037
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△919	△919
配当金の支払額	△112	△201
その他	△213	△176
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,245	△1,297
現金及び現金同等物に係る換算差額	43	82
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△32	△3,191
現金及び現金同等物の期首残高	7,997	7,395
現金及び現金同等物の中間期末残高	7,964	4,203

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。